

公衆無線LAN整備促進ローコストモデル

2015年4月7日(火)

ソフトバンクモバイル株式会社

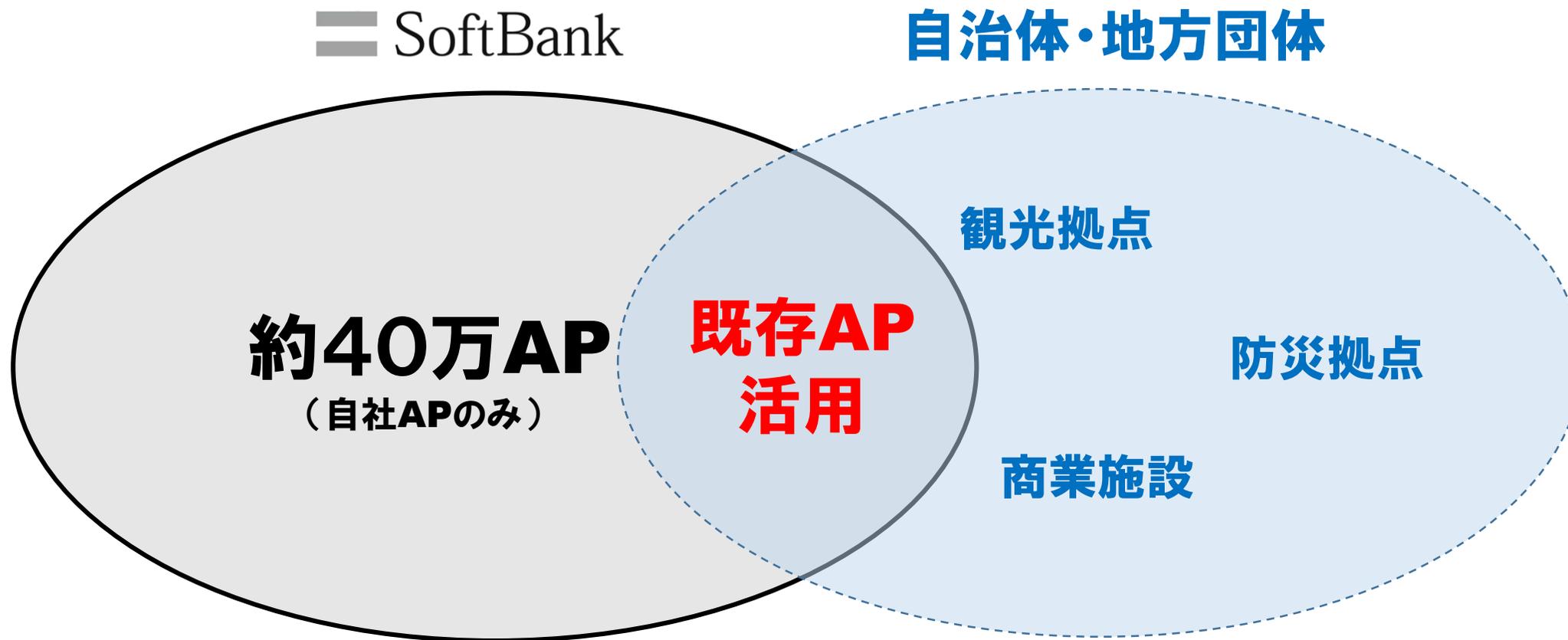
初期コスト	機器費
	工事・設計費
	ネットワーク構築費
ランニングコスト	保守監視
	オンサイトサポート
	回線代

① 限られた整備促進予算で
より多くのAPを展開するためには？

② ランニングコスト低減の方法は？

**キャリアの公衆無線LAN
既存Assetの活用など**

① 限られた整備促進予算で より多くのAPを展開するためには？



設備卸・ローミング接続・相互乗り入れなどあらゆる形態の協力が可能

② ランニングコスト低減の方法は？

● 保守監視

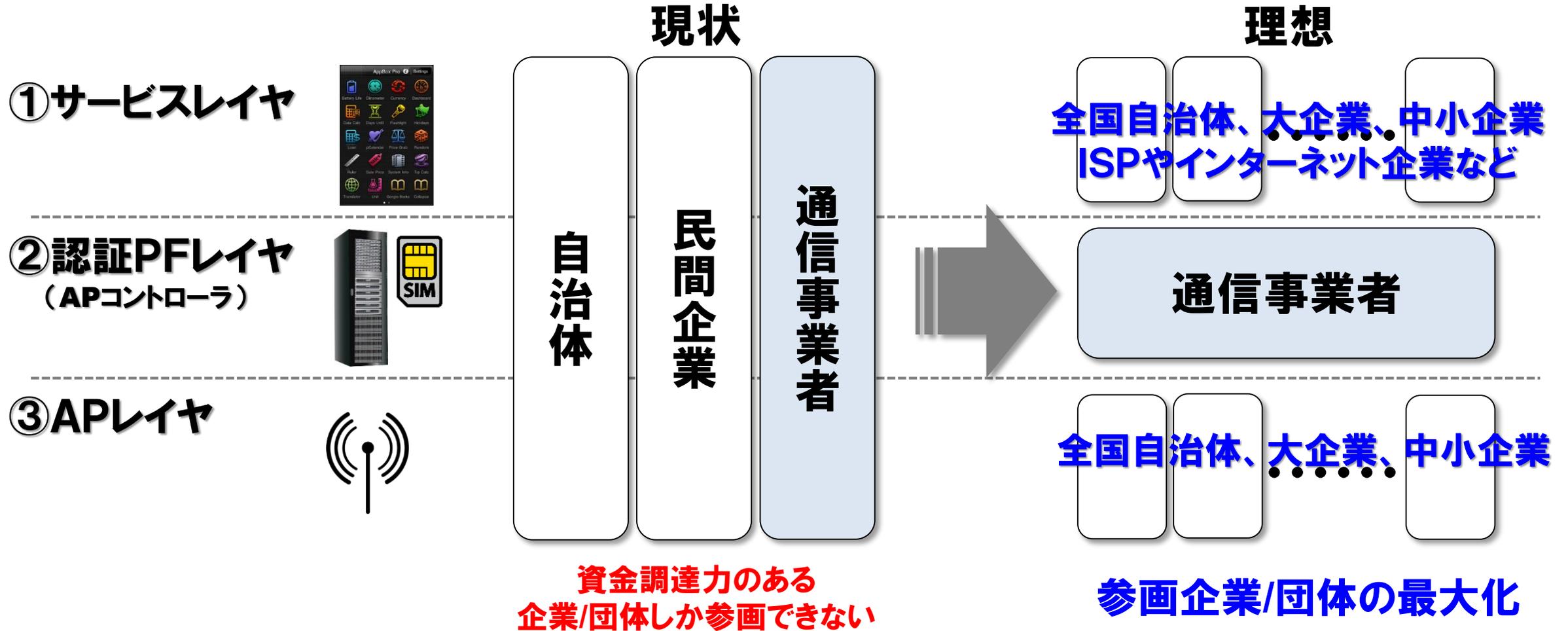
キャリア公衆無線LAN = 自治体公衆無線LAN

保守レベルを弊社40万APのレベルと同一であれば、コスト低減化が可能

● オンサイトサポート

機器故障等による交換作業が考えられるが、軽微な故障については、**DIY(Do It Yourself)**による対応によりコスト低減可能
また、駆けつけ保守のレベルを高度にすればするほどコスト増となる

公衆無線LANの整備促進と活性化



参画者の最大化がコスト低減につながる